

## 会 議 録 (要旨)

会議名	第6回瑞穂町教育基本計画審議会
開催日時	令和元年11月25日(月) 午後6時から午後7時30分まで
開催場所	ふれあいセンター 会議室
出席者及び欠席者	<p>教育基本計画審議会委員</p> <p>出席者：田中委員、悴田委員、石坂委員、池谷委員、中野委員、山宮委員、戸田委員、田村委員、下田委員、鳥海委員、鈴木委員、宮坂委員、岡田委員、石川委員、友野委員、佐久間委員</p> <p>欠席者：沖委員</p> <p>事務局：小峰教育部長、小熊指導課長、稲富統括指導主事、加藤指導係長</p>
報告事項	なし
審議会次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 第2次教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第2次教育基本計画素案の修正について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 素案全体に対する質疑・応答</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 第2次瑞穂町教育基本計画答申案について</p> <p>4. 事務連絡</p> <p>5. 閉会</p>
傍聴者	なし
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。)	<p>次第1. 開会、田中会長から会議の公開、会議の成立、会議時間、についての説明が行われ、会議が進められた。</p> <p>次第2. 小峰教育部長挨拶</p> <p>次第3. 第2次瑞穂町教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 説明 小熊指導課長から、第5回審議会での指摘事項について修正した箇所の説明・確認。</p> <p style="padding-left: 20px;">[主な質疑応答]</p> <p style="padding-left: 20px;">(石坂委員) P47補修事業では、フューチャースクールだけではなく、個に応じた課題や習熟度別の補習指導をしているため、補修発展事業や自主学習活動といった名称としてもよいのではないか。また、P59のタブレット端末を各校90台とした根拠はなにか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(友野委員) 各校90台は、指導課長と協議の上、各校2クラス分として決めた台数です。</p> <p style="padding-left: 20px;">(悴田委員) 整備計画に基づいた台数といった表記でよいのではないか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(友野委員) 全体的に、右記や同右など表記を統一したほうがよいのではないか。また都教委などの略称は正式名称としたほうがよいので</p>

はないか。

(田中会長) P 5 4 「右記の指導・助言(全項目)」と記載されているが、「右記全項目に対する指導・助言」などのように文章に含めたほうがわかりやすいのではないか。また P 4 7 の補習事業については、ここは事業名を入れるところではないため、子どもたちへの補充や発展、個別の授業の推進と記載したほうがよいのではないか。また、町が目指していくのは、勉強が苦手だから補修するというのではなく、伸ばせるところを伸ばして行くといったことを記載していけばよいのではないか。

(俣田委員) P 3 5 フェーズ 4 (1) 「瑞穂町で活躍したい教員の確保」とあるが、「活躍したい」ではなく、「瑞穂町の教育に尽力したい」や「従事したい」などの文言のほうがよいのではないか。

(田中会長) P 6 9 について、瑞穂町では P T A 活動と地域学校協働本部の 2 本立てで行っていくという内容でよいか。

(小熊指導課長) P T A の機能は必要であるが、その機能の一部を地域学校協働本部が担っていくという考えです。

(戸田委員) 地域学校協働本部は子どもたちの学力の向上のため地域の住民と協力して放課後の補習や見守りなどの活動を行うものと認識していたが、P 6 9 では P T A の負担を減らすためのフォローを地域学校協働本部で担っていくということですか。

(小熊指導課長) P T A を補完する形で地域学校協働本部を生かし、協働連携していく形になると考えています。

(田中会長) P T A 活動がこれまで果たしてきた役割は重要だが、今後も学校の教育活動に必要であると言い切ってしまうのはどうかと思う。保護者の勤労形態も変わってきていることから、地域学校協働本部を絡めて再構築が必要であるというような形にしたほうが良いのではないか。

(佐久間委員) P 6 1 の 6 行目に教職員の各種の取組が学力向上にあまりつながっていない状況が見受けられるとあるが、上記のグラフからは、教職員の取組だけが全国を下回っている原因とはいえないのではないか。

(2) 素案全体に対する質疑・応答 田中会長からこれまでの審議を通じて素案全体に対しての質疑等を確認。

(特に質疑等はなかった。)

(3) 第 2 次瑞穂町教育基本計画答申案について 素案全体に対する質疑・応答、委員長からこれまでの審議を通じて素案全体に対しての質疑等を確認。

[主な質疑応答]

(田中会長) P 2 9 の写真はそのまま載せるのか。

	<p>(宮坂委員) 長期総合計画の会議でも同様のことを実施することを考えているが、巻末の資料として掲載する予定でいる。</p> <p>(小熊指導課長) では、巻末に掲載する形とします。</p> <p>(田中会長) いくつか修正が入るが、この内容で答申案としてよろしいか。</p> <p>(委員から異議等はなかったため、答申案とすることで決定した。)</p> <p>次第4. 事務連絡 小熊指導課長から今後の予定について説明。 (今後行われる、パブリックコメント等において、修正が必要になった場合は、会長及び副会長に判断を仰ぎ修正することで全委員から了承を得た。)</p> <p>次第5. 閉会、田中会長により閉会。</p> <p>閉会 午後7時20分</p>
--	---